

2008

岩手・宮城内陸地震

変化する人の未来を守るために、「災害」を旅する

東日本大震災 2011

被災地をめぐるモニターツアーの第2弾「見る、感じる、対話する「東北2つの被災地から未来を見つめる旅～ Part2」は、沿岸部と内陸、2011年東日本大震災と2008年岩手・宮城内陸地震の2つの被災地をめぐる旅シリーズです。今回は南三陸町と気仙沼小泉地区、5年前の6月の被災地であるくりこま高原から未来を見つめます。

沿岸部の主な訪問先は、気仙沼市小泉地区、南三陸町。ここで親子の海の観察会に参加後、先日結成された小泉地区の「小泉Coolな親父の会」や、「南三陸ネイチャーセンター友の会」のみなさんとの意見交換を予定しています。

岩手・宮城内陸地震の訪問先は、甚大な被害を受けた「くりこま高原自然学校」。同校では、今年から本格的な活動再開に向けて、エネルギーや食料を自給できる「エコビレッジ構想」を進めようとしています。当日は満月。「満月の夜の豊志塾」で同校代表の佐々木豊志さんが吠えます！新緑とニッコウキスゲが見頃のくりこま高原も満喫できる、癒される貴重な時間も待っています。

2つの震災後の、リアルな「今」を感じましょう。

2013年6月22日(土)

泊3日 ~ 24日(月)

【集合】6/22(土) * 時間と場所は未定

【参加費】2万円程度(現地までの交通費、飲食代除く)

【定員】10名(最小催行5名)

【スケジュール】* 内容は、天候・その他の事情により変更となる場合があります。

6/21(金) 東京発(まんてん号) 予定 * 希望者で相乗り。時間は未定

6/22(土) 午前中 小泉の海岸で親子海の観察会

午後 小泉Coolな親父の会のみなさんと意見交換(くりの木ひろば)

宿泊: 南三陸まなび里いやど <http://ms-iriyado.jp/about>

6/23(日) 8:30～磯の観察会(スタッフ参加: 子どもの見守りなど)

午後 南三陸ネイチャーセンター友の会スタッフと意見交換

夕方 くりこま高原自然学校へ移動

17:30～ 「満月の夜の豊志塾」参加

宿泊 くりこま高原自然学校

6/24(月) くりこま高原の高山植物の花々と新緑のブナの森を満喫

リフレクション

昼頃解散

【主催】一般社団法人RQ災害教育センター

【協力】くりこま高原自然学校、日本の森バイオマスネットワーク、南三陸ネイチャーセンター友の会、小泉Coolな親父の会 ほか

【申込み】下記Webサイトから

<http://www.rq-center.jp/news/1075>



* このプログラムは、災害教育の調査事業の一環として実施するものです。ご参加の方には、本プログラムが終了後、アンケートのご協力をお願いいたします。プログラム中の様子を撮影した写真・動画および参加者のご感想等は、RQ災害教育センターのプロモーション活動で使用させていただく可能性があります。

見る、感じる、対話する 東北2つの被災地から 未来を見つめる旅 [Part2]

一般社団法人RQ災害教育センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5
rqdec@rq-center.jp

